

侵入害虫クビアカツヤカミキリが 府内で初確認されました！

令和6年7月
京都府農林水産部農産課
京都府病害虫防除所

生産園地において本種を見つけた場合には、直ちにお近くの
農業改良普及センターまたは病害虫防除所までご連絡ください



クビアカツヤカミキリ♂成虫
浦野忠久氏（森林総合研究所）提供

- ◆サクラ、モモ、ウメ等を加害する侵入害虫クビアカツヤカミキリが、令和6年7月に京都市、向日市で**初確認**されました。生産園地での発生に十分警戒してください。
- ◆特定外来生物に指定されており、**生きたままの移動は禁止**です。
- ◆生産園地で見つけた場合は、**その場で殺虫**後、裏面の連絡先へご連絡をお願いします。

【お願い】

連絡の際は、**詳しい発見場所、木の種類**をお知らせください。
殺虫後、可能ならスマートフォン等で虫やフラスの写真を撮影し
裏面の連絡先へメール送信いただくようお願いします。

※ この虫は人体に直接害を及ぼすものではありません。

クビアカツヤカミキリとは

■成虫

原産地は中国。体長は、約2～4センチ。
全体的に光沢のある黒色で、胸部は赤色です。

■寄主作物

サクラ、モモ、ウメなど

■生態と被害状況

- (1) 幼虫がサクラ、モモ、ウメなどの生木の内部を食害、うどん状のフラス（木くず）を排出します（3～10月頃）。
被害が激しいと、枯死します。
- (2) 幼虫は、幹の中で2年かけて成長し、蛹となります。
- (3) 産卵翌々年の6月中旬～8月上旬頃にかけて成虫となり幹の外へ脱出します。
- (4) 成虫はすぐに交尾し、1,000個近い卵を樹皮の割れ目やすき間に産卵します。



幼虫が排出する
うどん状のフラス



幼虫が食害した被害樹断面



成虫の脱出痕
(羽化した跡、長さ2～3cm)

■ 主な防除方法

● 農業用ネットの巻き付け

羽化した成虫の飛散防止、新たな産卵の防止のため、4mm目合い以下のネットを密着させないように2mの高さまで樹幹に巻き付ける。特に成虫発生時期（6～8月）は2～3日ごとに見回り、ネット内で見つけた成虫は捕殺する。

● 成虫脱出予定孔の封鎖

成虫脱出前に樹木切口被覆材で、成虫が出る穴をふさぐ。

● エアゾール剤

フラスが出ている穴の木くずを千枚通しでよくかき出し、噴射。1週間後、木くずが出なくなったことを確認。出ていれば再度実施。

● 幼虫掘り取り

フラスが出ている穴周辺の樹皮をノミ・ドライバーなどで剥ぎ、ドライバー・針金などで幼虫を掘り取る。

● 化学農薬・生物農薬〔菌・線虫〕散布

※登録情報をよく確認し、記載内容を守って使用してください。
最新情報はインターネット「農薬登録情報システム」等で検索。

- ◆ 被害が甚大な場合、伐採・抜根する場合は一度ご相談ください。
- ◆ 詳細は農業改良普及センターにご相談ください。

クビアカツヤカミキリ（疑い含む）発見時の連絡先

■ 生産園地で発見した場合・・・最寄りの農業改良普及センター

普及センター名	電話番号	メールアドレス
京都乙訓	075-315-2906	kyoto-nokai@pref.kyoto.lg.jp
山城北	0774-62-8685	yamashin-no-kita-nokai@pref.kyoto.lg.jp
山城南	0774-72-0237	yamashin-no-minami-nokai@pref.kyoto.lg.jp
南丹	0771-62-0665	nanshin-no-nantan-nokai@pref.kyoto.lg.jp
中丹東	0773-42-2255	chushin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp
中丹西	0773-22-4901	chushin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp
丹後	0772-62-4308	tanshin-no-tango-nokai@pref.kyoto.lg.jp

京都府農産課 電話 075-414-4945 メール nosan@pref.kyoto.lg.jp
京都府病害虫防除所 電話 0771-23-9512 メール bojosh@pref.kyoto.lg.jp